

パスポート

ガスタボ・オトによる□人の配役劇

翻訳 ヘザー・マッケイ

配役のキャラクター

ユーゲニア

役人

軍人

音楽□マエラ ムヤラ とサイモン・ディアズ

軍人□以下 軍□□全員出ろ、全員出ていくんだ、閉鎖だ。月曜日まで閉鎖する。  
。

全員出ろ□閉鎖するぞ、またな、出ろ、出ろ□

ユーゲニア □以下ユ □ □すみません、役人さん、すみません・・・

軍人 □以下 軍 □ □出ろ、出るんだ、全員でなさい。

ユ □軍人さん、私、とても困っているのです。

軍 □言ってることがわからないぞ。

ユ □あなたは何語が話せますか □

軍 □何を言ってるんだ？

ユ □あなたが何を言っているのかわかりません。

軍 □よし、わかった、何の目的だ □

ユ □ここはどこですか □ここは何と言 □国でしょ □か？

軍 □何を言ってるのかわからん、通訳者を連れて来な。

ユ □わかりません。

軍 □どここの言語を話しているんだ□

ユ □あなたの言ってる言葉がわからないのです、役人さんを・・・

軍 □パスポートを見せな。

ユ □え、何ですか？

軍 □パスポート□

ユ □ああ、パスポートですね、これです。もちろん私のパスポートです。

軍 □まあ、とりあえず俺もこれが使えると思□けどな。

ユ □ここで待つんですね□つまり、私がここにいる、とい□ことですよね□  
違いますか□

役人□以下 役□□も□出て行く時間ですよ、プラットフォームを空にしなくては  
。

あなたはここに居てはならない。

ユ □あの・・・教えていただけますか・・・この国と街の名前を  
。

役 □いいですか、プラットフォームを空にする、終業時間。

ユ □何と言ったのですか? アルバニア、パラグアイ?

役 □出て行きなさい。

ユ □わかりません。

役 □出る、バイバイ、帰る時間。

ユ □何と言ったの? 「帰れ!」って。 一体何処なの?

役 □英語が話せますか?

ユ □英語? いいえ、英語は話せません、少しだけなら、少し。

役 □パスポート□

ユ □さっき別の方に渡したはずですが。

役 □パスポート□

ユ □ですから・・・

役 □ふざけるのもいい加減にきなさい。

ユ □私は他の役人さんにパスポートを渡しました。

彼はここを離れてまだ戻って来ないんです。

役 □ん□□□む・・・パスポート無しか。何処から来たんだね□

ユ □これではお互い分かり合えません。私の時計は壊れてしまいました。

何時なのだろ□・・・今、何時ですか?

役 □ブライブ□賄賂□だって□

ユ □ファイブ□□時□といったのですか□

役 □パスポートは無い、わけのわからないどこかの言語、賄賂を欲しがる。

ユ □この時計、このバカ時計、止まってしまったのです。

役 □他の身分証明は持っていますか？

ユ □これ、動かないのです。この時計。

役 □大変残念ですが、あなたには深刻な問題があります。

ユ □これは一体ど□してなの□神よ□

役 □あなたの書類だ。

ユ □何のことかわからないんです。私、スペイン語を話します。

役 □何を言ってるかわからないよ。

ユ □スペイン語を話します。エスパニョール□スペイン語□□□

役 □スパイ

ユ □スペ

役 □スピ

ユ □イーエーエ、話す。

役 □スパ、スパイ？ 君はスパイといったのか？

ユ □はい、スペイン語を話します。

役 □君は自ら忌々しいスパイだと自供したんだな□

役 □それでパスポートが無いのか。

ユ □わかりません。何を言ってるのかわかりません。

役 □ノー パスポート ! 何処から来たのだ? 北か、南か□

ユ □わかりません。

軍 □何か彼女は怪しいですな。

役 □南から来たに違いない。

ユ □わからない。

軍 □おまえがやったことは違法だとわかっているだろ。

ユ □え、何ですか? 言ってる事が全然わかりません。

□彼はわかっていないよ。

ユ □え□

役 □一人旅なのか、それとも他に連れはいるのか□

ユ □わかりません・・・・・・

軍 □彼はわかっちゃいないぜ。

役 □君は彼女の言語が話せるのかい□

軍 □少しだけですが。

役 □君はど□やってそんなに様々な国の言葉を知っているのかね□

軍 □たくさんテレビばかりみてますから。

役 □とにかく、彼女が「はい」と答えたことを書き留めて置くよ。

軍 □ま、そんな感じですか。

役 □彼女はそ□言ったのか。

軍 □そ□思いますよ。

役 □ご婦人、これがあなたへの布告文です。「私はこれらの違法状況と、  
私自身すべての人権を失ったことを理解します。」これにサインしなさい  
。

ユ □わかりません。

軍 □彼女はこ□言ってます。彼女はテロリストで大統領、領事、全ての軍人や  
まわりの警官達を殺すなりテロを起して逆らお□と。

役 □それなら彼女は南から来たに違いないな。

ユ □わかりません。

役 □何と言ったのだ□

軍 □彼女は南から来た、美しい街でそこには夫と、二人の恋人、□人の子供が



いて大分昔のことで皆にはあっていないと、でもそんなことはど□でもいいと言っています。

役 □書き込むスペースが足りないな。

軍 □子供の部分は削除ですね、彼女の言ってることは少しも真実ではないので。

ユ □何が起こってるのかわかりません。

軍 □彼女はわかっていないよ□です。

ユ □わかったわ□あなた、私のパスポート持ってるでしょ!

軍 □彼女はパスポートが無いとっております。

ユ □・・・彼に言いたいのは・・・この人が私のパスポートを取ったの。

軍 □彼女の言ったこと聞こえましたか?

役 □ああ、しかし事がわからない。

軍 □彼女はパスポートを持ってないと、でもそんなのはど□でもいいと。

それに付け加えてあなたは間抜けだと、それに引き換え私はあなたより頭が良いとっております。

役 □本当か? おまえはそ□言ったのか?

ユ □はい、彼は私のパスポートを持っています。確かに。

役 □君が彼女を発見したとき彼女は何をしていた□

軍 □彼女はとても怪しい様子でした。多分乳母車の中にC□型の爆発物を仕掛けよ□としてたと思います。

ユ □はい、パスポートをこの軍人に渡しました、そ□です。

軍 □おまえ俺のボスに間抜けと言いやがったな、聞こえたぞ。

ユ □ええ、あなたは私のパスポートを持ってるでしょ。

役 □最後にも□一度聞く、パスポート□

ユ □ちょっと、だからパスポートは彼に渡しました。

役 □パスポート□

ユ □くそったれ□

役 □これらは全て怪しいな。

ユ □領事館の人を呼んでください。

役 □パスポート、パスポート パスポート!!!

役 □彼女は少し休んだほ□がよいだろ□。

軍 □疲れているよ□ですね。

役 □このよ□な旅はきついだろ□。

軍 □はい、特に女性にとっては。彼女達は常に頭痛や腰痛やら足先に痛みをも  
っていますから。

役 □あの荷物をチェックしろ。すべて慎重にな。私の兄弟と爆弾の事を繰り返したくないからな。

軍 □外国人達は爆弾を埋めるぐらいしか役にたちませんからね。

役 □私の兄弟は彼らの爆弾で亡くなったんだ。

軍 □え、本当に？ 彼は攻撃されたんですか？

役 □いや、彼がそれで遊んでいるときに爆発したんだ。

軍 □爆弾で遊ぶ？

役 □馬鹿だったね。

軍 □家系ですかね。

役 □笑い話にするな、おまえをトイレにも行かせなくするぞ。

軍 □すみません。

役 □君の家族は誰も亡くなっていないだろ□

軍 □ど□い□意味ですか？

役 □爆弾は全ての・・・

軍 □私の父。

役 □え・・・

軍 □旅行者。彼女は国境をハンドバッグで渡って、それを落し去った。

父はただ丁寧に接しよ□と・・・そしてドカーン□

ユ □何が起きたの□何で私を叩いたのですか？

役 □長官が警告したのだ。ここにはたくさんのテロリストがいる・・・

理解するべきだ、攻撃が多いんだ。

ユ □謝っているのね。

役 □そんな遠まわしはいいんだ、昨日、民間航空機が・・・

ユ □ありがと□・・・ありがと□、私達はちょっと神経質になってたのね、

わかったわ。

役 □あなたはこの国にたくさんの敵を持っている。

ユ □大丈夫、痛みは和らいでています。

役 □あなたのパスポートは何処にあるのか知りたいのだ。

ユ □なに□

役 □いいかい、早く終わらせよ□、あなたが誰なのか、何処から来たのか、  
どんな目的があるのか・・・

ユ □やっとわかってくれたのね。

役 □君はしゃべらないほ□が良かったのかもな・・・

ユ □も□いいわ。忘れたんです。電車の乗換えを教えてください。

役 □パスポート。

ユ □あなたたちは理解してくれよ□としてないわね□

軍 □ここに何冊か本があります。

役 □本?どこの言語で書かれてあるんだ?

軍 □わかりません。中国語、ギリシャ語、ペルー語□

役 □ギリシャ□君はギリシャ系ペルー人なのか□

ユ □いいですか、あなたが何を言ってるのかわかりません。電車に乗って来て  
乗り換え間違えたんだと思います・・・乗車券を持っています・・・乗  
車券□

軍□役 □気をつけろ□おちついて□銃を持ってる□拳銃をみたぞ□彼女はミサ  
イルを靴に隠し持っているぞ!

軍 □財布をみつけました。

役 □気をつけてチェックしたまえ・・・なんだね□

軍 □国境でこのお金は申告したのか□

ユ □私のお金です。

軍 □ここにまだお金があります。あと、タバコも。

役 □タバコ□ドラッグ□

ユ □やめて、骨が折れる!

軍 □つまり、密輸しよ□としてたんだな。

ユ □今度は何よ?

役 □外国紙幣、この国に持ってくるのは違法だと知ってるだろ□。

軍 □パスポート無し、ドラッグの密輸計画、罰金を払□んだな、  
このクズ外国人野郎め□

ユ □私が何て言ったの□ど□したとい□の□

役 □何だ君は□南から来たドラッグの運び屋なのか□

ユ □説明させて。

役 □我々は君たちみたいな人たちを良く知っている、テロリスト、馬鹿密輸入  
。

ユ □誰かたすけて□□

役 □なにか言いたいことはあるか?

ユ □何を言ってるのかわからないわ□

役 □パスポートはどこにあるんだ□

ユ □何?

役 □パスポート!

ユ □ 一体ど□したのよ□何もしたくないわ□

軍 □ あなたには黙秘権がある。

役 □ 時間を無駄にしないでください、ど□せ言葉がわからないんだから。

ユ □ 今まで私は警察にも軍隊にもお世話になったことはありません。

私は法に背いたことはありません。事実、刑務所にいた事はありません。

このよ□な出来事は私の人生の中で見たことはありません。

目隠しを取っていただけますか？

ユ□何も見なかったと誓います。このよ□な出来事は今までなかったのです。

このよ□なことは起こるべきではなかったのです。

多分、他の人が・・・私じゃなくて。

政府がすでに私の解放を要請していることを思います。

多分、ニュースか何かで私の事を取り上げられてるのではないでしょ□か。

ユ □ いいですか、私は昔、自分に何か経験が欲しくてひどい出来事が起こればと願ってました。凄い事を若い□ちに体験して後に雄大な話ができるよ□に。

。 だけど結局何も起きなかった。思えばそれが私の経験なのかも。

ユ □ 何か見つけ出すことができないかしら。多分何かの意味があるのでは。

何か意味があるのですか□ねえ□

軍 □ はあ□

ユ □ これらはど□い□意味なのですか□

役 □ 君が何を言ってるのかわからん。それに変な言語で私を屈辱したね、いいかい、君の言ってることを今考えているんだ。黙れ!

ユ □ つまり、あなたは私の言ってることを考えている。この全ての経験が良い方向に解決するでしょ□。そして私はさらに理解できないでしょ□、私は□れしいです・・・あなたがそのよ□に思っているのが□れしいです。



- 役 □多分あなたは共犯者と連絡をとるために、暗号で話しているんだろ□。アンテナとか使って・・・それか・・・知らない何かで。空中を渡って・・・そ□だろ。空中を伝って連絡をとっているんだな。
- 軍 □みんな出る!ここは閉鎖する□
- 役 □おい、寝ていたな、いびきもしていたぞ。
- 軍 □私はいびきなどしたことはありません。
- 役 □しかし、音を出してたぞ。
- 軍 □ちょっと夢をみてたんです。誰か□彼女□になった夢を、おいおまえ、犯罪者よ、誰かになった夢を見たことあるか?
- ユ □あなたが誰か知ってる気がするわ、そ□・・・そ□・・・そ□。
- 軍 □そ□・・・そ□・・・そ□・・・

ユ □あなたの声に聞き覚えがあるわ。例えあなたが見えなくても、感じるのよ、

あなたの声だ。数日前あの駅で会った警官の声だ、パスポートを取った。

軍 □パスポート□

ユ □その通りよ。この目隠しをはずしてくださる□

軍 □シ・シ・シ・シ・・・・

ユ □シ・シ・シ・シ・・・・□

軍 □シ・シ・シ・シ・シ・・・・忘れろ。

ユ □何ていったの？

軍 □お前は詐欺師だ。お前のパスポートはコーヒーの価値すらない。

ユ □なんです□

軍 □シ・シ・シ・シ

ユ □私のパスポートを手を取った人の顔を覚えているわ。だって私がすぐにその人を見たとき誰かを思い出させたから。誰か・・・テレビで見た顔。家に戻って。

それは私の国を防御する何人かの敵に対するトレーニングに関しての若年層に関するレポートでした。こんな感じの小さな部屋で。みんなそこに入れられて少なくとも□□人はいて、服を着てなくて、空間も無くて、息苦しくて。

役 □おまえは自分の国を守りたいのか、それとも無くなってしまえばと  
思っているのか？

軍 □はい、私は国のためならすべてを捧げます。

ユ □あの軍人のよ□に話すのね、まあ、どこでも軍人は同じよ□に話すの  
だろ□けど。

ユ □ありがと□□ねえ、あなたはあの・・・

軍 □さあ、お前の願い事を聞こ□じゃあないか。

役 □傷つけてなければよいのだが、大丈夫か？

ユ □ええ。

役 □同じ言語で話してないことはわかるさ、わかっているが・・・

ユ □あなたの言ってることがわからないのです。

役 □だが私達はわかりあえただろ□□

ユ □ありがとう□・・・ありがとう□・・・何かの間違があったことはわかって  
います・・・

役 □まだ喉がかわいているか□

ユ □え□

役 □のどが、かわいた□

ユ □わたしは、あなたの、言葉が、話せない。

役 □なるほど。飲む・・・飲む。

ユ □あ、わかった□飲み物・・・はい、少し。

役 □もっと水を持って来てくれ□急いで・・・□

役 □さて、政府のために働いてるとこ□い□事がよくあるのさ、ここがこの駅、

私はまさにこの町に住んでいるんだ。ここの出身だが、あなたは私が  
開けた男、ヒューマニストである事がわかるね。

ユ □ありがとう□ございます。なんて親切な。

役 □あなたの言語を話さなくてもあなたのことはわかるよ。

ユ □きっと領事館が送ってくださった方なんですね。

役 □水、もっと飲むかい□

ユ □いいえ、ありがと□。

役 □そ□か、彼女にもっと水をもって来い。

役□あなたは良い顔をしている。テロリストや密輸入なんかにはみえないさ。

素敵な顔だ・・・

ユ□今からここを出ると言ったのですか？

役□いや、おまえは犯罪者だ・・・

ユ□ここに居なくてはならないのですか□

役□しかし協力してもらわなくては・・・

ユ□言ってることが分かればどんなにいいか□

役□もっと水を飲むか□

ユ□いいえ、本当にも□いらないわ。

役□わかった、もっと水を持ってこい。

ユ□お願いします、も□いりません、いらない□

役□いいかい、私たちと君とはお互い遠いところに住んでいる。□ちの街の者

意外はここにはあまり訪問者は来ないんだよ、もちろん外国人なんか来たこ

とはないんだよ。もっと水を飲むか□

ユ□も□嫌です、お願い！ も□いりません□

役□そ□か、そ□か、ほら水だよ、飲みなさい。

ユ□違□違□、水はいらないの、お願い□

役□そ□か、飲みなさい。

ユ□神よ、ど□かこれ以上私に水を与えないよ□に彼に教えてあげてください。

私のも□気分が悪くなっています。

役□君が飲みたいだけ水を飲んでいいんだよ、ここはたくさんの川があって

どこにでも水がある都なんだよ、すばらしい雨も降る神が与えてくれたこの  
美しい国そして・・・さ、水を飲むかい□

ユ□いやあああああ□やめてえええ□

役□そ□か、さあ、飲みなさい。

ユ□ああ神よ、ど□したら彼らの言ってることがわかるのでしょ□か□

役□あなたが自分に不利に使われるかもしれない発言をしていなければ良いが。

ユ□多分彼らは私がどこの国の言語を話しているのか考えてるのね・・・通訳者を  
呼ばなくては・・・

役□わかった、いいかね、今から私の言□ことを繰り返しなさい「もし私が彼ら  
を理解できたら」 理解できたら・・・理解できたら・・・

ユ□「理解できたら」

役□よろしい。

ユ□こんなかんじね「理解できたら、理解できたら」

役□すばらしい、さあ、一緒に言ってみよ□□パス・・・

ユ□パス

役□・・・ポート・・・パスポート。

ユ □いい加減にしてよ!

軍□役□パスポート□

ユ □私の今まで言ってたことが全然通じてないわ。

役 □さあ言□んだ、パスポート!

ユ □何てい□最悪な所なのここは□□□

役□軍□あなたは何らか自分の身分を証明するものを持っているはずだ□

□そんなのはみんな持っている!ここは例外はあり得ないんだぞ□

パスポート□パスポート、パスポート□

ユ□今まで何か得ることは出来たのかしら。

ユ□ねえ□

軍□おまえの住んでる国の女たちはみんなどんな女なんだ□

ユ□何ですって□

軍□いいか、おまえの住んでる国の女たちはみんなどんななんだと聞いているのだ。

ユ□ああ、ど□やって電車に乗ってこの街に来たのか聞いているの□

軍□そ□だ、女達。それで□その・・・ベッドではワイルドなのかやさしいのか□

ユ□ど□やら間違っていたみたいだわ。

軍□本当か?俺は自分でもなかなかベッドの上ではやさしいぞ。

ユ□長期旅行を取るつもりでしたが、どこか途中の道で、私は寝入ったに違いありません。だれも私を起こしませんでした。だれも何も言いませんでした。

軍□おまえはラッキーだな。ここでは違□けどな。ここの女達はヒゲが生えてるだろ、みんな毎日ジムで鍛えてるんだ。おまえがテレビで見る女みたいなやつらに見えないだろ。

ユ□その通りです、あまたのおっしゃる通り。□□□日後には電車に乗れるでし



よ□。山々、橋や国々。今まですべて見たことのない景色。

軍□そ□だ、その通りだ。みんな鍛えてひどい筋肉をつけてな、女はやわらかい

ほ□がいい、そして繊細で長いブロンドの髪。テレビで見るよ□な。

ユ□あなたも橋が好きだと言いました？

軍□女？ 大好きさ。

ユ□私もです。

軍□もっとおまえの国の女達の事を話してくれよ。

ユ□ええ、船の長旅の事を話すわ。。何日か橋を過ぎて。私は地図をなくし、  
方角を見失ったの。世界はとても広く、何処にだって駅があって、人々も  
「さよなら」を言っている。列車道、鉄道手、鐘・・・だから私は一台の電車で  
何日か旅をすることに決めたのです。

軍□・・・そ□さ、どい□意味かわかるだろ□例え俺がおまえの言□言葉がわから  
なくても。わかるだろ□俺たちは同じよ□に愛とセックスを感じているって  
ことが。俺たちが中国語だろ□がクロアチア語を話そ□がど□だっていいん  
だよ。いいか、俺は□回離婚している。□回結婚したとは言っても俺は愛す  
るところか嫌っていたのさ。おまえは結婚してるのか、それとも離婚してる  
のか□

ユ□わかったわ。出来るだけ頑張って説明するわ。私が電車に乗ったのはいろいろな理由があったんです。多分、拳銃を持つ代わりに電車に乗ることを選んだのかも。だって、私が時間と距離のそれらのすべての間違われた理論を信じたから。壊れた夢の為に、私の大胆な行為への信念。  
私は勇敢で、馬鹿な愚か者だった。

ユ□私の人生で愛する男は死にました。

ど□にもならない世界をたたえる歌を歌□ために。

通りが共にとどまることは出来ない永遠の愛を誓□カップルの匂いで満たさ

れていたから。も□これ以上何も、草さえも育たないから。

彼らは私たちの根や木、風までも奪ってしまった。

記念碑は24のロックグループの名前で覆われていたから。

専門家と芸術家を養□学校が盲目と聴覚障害者のためにあったから。

ユ□なぜかとい□と・・・だから・・・灰色の花瓶ばかりだからこの国を去った方がいいと思って。私が花を全滅させ、私より怯えた友達や愛された人たちを不毛にさせた原因だと思ったから。多分、私は、たった今宿っている

この狂気のためにその列車に乗ったのです。

ユ□自分のやってることがわからなくなって感じたまま乗ってしまったんです□  
自分の心が凍り付いてしまったから。

軍□まあまあ落ち着け、おまえがあつ男に惚れてるぐらいわかってるさ、元軍人  
で、踊りも上手で□イスキーで酔って、そ□言ったんだろ□でもそんなに悪  
い男じゃないぜ。例え男らしい男だと言ってもおまえをいい気分出来るん  
だぜ。例えベッドの中では良くたって、おまえの言ったとおり・・・そこまで  
言□必要はないな。

いいか、彼はそんなに悪くないぞ。自分の事をよく考えておくんだな。

誰も気にしちゃいないさ、わかったな・・・O□K□□

ユ□わかったな、O□K□

軍□わかったな、O□K□

ユ□わかったな、O□K□

軍□ほらな、これでお互い通じ合ってるじゃないか。

ユ□ど□したらいいのかわからないけど、私がさっき言ったすべての事をわかってよ□

役□いいねえ。私的な話をしている二つの心か。

軍□彼女は他の誰より腐ってる。

役□何？ 他国の人々の方が良いと思ってたのか？

軍□奴らが我々同様に悲劇的だとい□ことで自分の気持ちが落ち着きます。

役□もちろんそ□だろ□。おい、君、外国人。お腹空いているか？

ユ□そろそろ時間ね。お腹減ったわ。

役□何？ 腹が減ってないのか□

ユ□お腹が空いて死にそ□。

役□腹が減ってないのか、え□何か毒でも入ってると思ってるのか？

軍□心配するな。我々はおまえを刑務所なんかに入れやしない。もし殺したくなったら、そのときはすでに死んでるさ。

ユ□すぐに腹が減るさ。そして食べ物を求めるだろ□。

軍□彼女をひとりにしてやりましょ□。そしたら爆弾をつくるでしょ、でも彼女はそんなに悪いやつじゃない。

軍□自分は線路がどこで終わりになるのかみて見たいです。

役□線路に終わりはないんだよ。ひとつの駅から来て、このよ□に、そして続いて他に続いてまた別に続いて・・・

軍□自分は一度も電車に乗ったことがありません。でも、人々が乗っていくのを見たことはあります。

役□それは同じではないよ。

軍□あなたは旅行に行ったことがあり、世界を見てきています。

役□思い出すのは難しいよ。

軍□もし自分が旅行に行ったら道に迷□ことは無いです。

役□もし君が旅行に行ったらたてきって迷□さ。

軍□明日、北に行ってきます。

役□北へ□なぜ□北なんか人しかいないだろ□。

軍□ど□だっていいんです、では南に行きます。

役□通行許可の状況が悪化してるんだぞ、しかも犯罪が多い。

軍□南では、彼らは情報を持っています。何が起きているかを知っているでしょ□。ここで、すべてに関して我々の推測するのは...  
我々はもはや存在さえしない境界を防御することはできるだろ□と、そしてそれがすでに遅すぎたとい□事がわかるでしょ□。

軍□我々の知らない□ちに法律が変わっているかもしれない。  
もしかしたらも□軍人は要らないのかも、そしてみんな家で座ってテレビを見ているのかも・・・俺以外のみんな。もしかして新しいボスがいるのに俺たちはまだ古いボスからの命令をまもりつづけていて、そしてそこには彼女のよ□に他の言語を話す人達がいて、こんな感じに、他の言語を話し変わった本を読んで何を言ってるのかがわかるのかも。

役□君はこの女が自分の言ってることがわかると思□のか？

軍□もちろんです。

役□ど□してそ□思□□

軍□彼女は自分自身をもってるよ□に思えるからです。よく目をみてください。

彼女は信念を持った女性です。

役□私は彼女に似た爆発物の専門家を見たよ。ケーキの上に飾るプラスチックの人形のよ□な感じのさ。さあ、も□一度君の父と爆弾についての話をしてくれ。  
。

ゆ□彼らの言ってることはハチの音みたい。何か遠く、遠くなくなってしまっている。  
。

声で彼らの言ってることを考えるのは難しいわ。何について話してるのだろ

□□仕事関係？ 国のことについて話してるのね。私のことについて。

そして私の馬鹿な間違いについて。なんだか彼らが良い人に見えてきたわ。

誠実で、賢くて。私の言ってることがわからないのが残念だけど。

きっと良い友達になれるわ。でも彼らの言ってることがわからないし、もし

私に近づいたとしても今は声が聞こえなくなってしまった。聞こえない、

でも、聞こえる。

ユ□聞こえる。波の音が。私の中で海のよ□な音が。海の音が聞こえる。

私を包んで身体を隠して。それでも□片方の壁の音が聞こえる。

乗車した電車が遠くにいったしまった。

公園で彼らがの男の子の写真を取る□としてその子は泣いてしまった。

も□片方の壁側では何があったか聞こえる。

話し声のよ□な様々な言語、私の言語も。

□カ国の言語が飛び交□。

警察官が香港で交通整理する笛の音。

フランクフルトに着陸する飛行機や、バンクーバーに忘れられた花嫁のすすり泣きさえも。

ユ□音楽と足音が聞こえる。□□□□マイル遠くのパーティー。

笑い声とグラスを揚げて。

一番の願いは□カ国語、私は話さないけど意味がわかる。

かすり傷の盲人が点字を読も□としているのを聞く。

モールス信号から悪いニュースを聞く。

長距離電話が聞こえる。「愛してる」

そして見知らぬ二人は鉄道駅で会□。ポストカードの写真のよ□に。

世界のどこかの角にある劇場での幸せな観客達の拍手を聞く。

私は月と新年の花火の向こ□側にある雲を削る音を聞く。



ユ□銃声が聞こえる。何かが落ちる音、誰かが逃げる。

ドアがバタンと閉じて、ラジオがまるで5日前の事のよ□に、明日のニュースを早口で伝える。

群衆が1つの場所へすべて向かっているのを聞き、そして彼らが理由を知らないと聞くことができる。

遠くの出来事は聞こえる、でもここでは、彼らが右隣にいるのに何も聞こえない。 私がここにいないとい□ことなのでしょ□か□

もしかして 私は死にそ□なの？ それとも、すでに死んでしまったの？

役□彼女は何を言ってるんだ？

軍□多分歌を歌ってるのではないかと。

役□歌っていたのか□今まで何ていったのだ？

軍□無礼な奴め、おまえは何者だ□何て悪い言葉を使っているんだ□

役□話す、犯罪者。話す・・・

ユ□シ、シ、シ、シ

役□この「シ、シ、シ、シ」ってのは何だ？

軍□彼女はそればかり言ってるんです。

役□どんな意味だと思□かね□

軍□多分、シ とは「こんにちわ」かと・・・

役□それか「はい」多分 シ とは「はい」だな。

軍□しかしながら、シ とい□のは「はい」には聞こえません。

役□だがどこかの国の言葉では シ とは「はい」だと思□が□

軍□シ□

役□はい

軍□いや。

役□シ はい。

軍□はい シ。

軍□さて、おい、おまえ、外国人。今日撃たれたいか□

ユ□シ シ シ シ。

軍□おまえの足先を切ってそれをスープと一緒に食べさせられたいか□

ユ□シ シ シ シ。

軍□さて、俺の言□とおり言え、「私」

ユ□私・・・

軍□「野獣。私は野獣」

ユ□「私は野獣」

役□さあ、次は私だ・・・私にも遊ばせろ。「私は汚れたケダモノ」言□ん  
だ・・・言□んだ!

ユ□あんたは汚れたケダモノ

役□俺が汚れたケダモノだと□

ユ□はい

役□おまえを殺してやる□

軍□ボス、落ち着いて、リラックス。彼女は自分が何ていってるかわかってない  
んですから。

役□時々彼女が馬鹿を装っているよ□を感じるんだ。

軍□彼女は我々の言ってることなんかちっともわかってないですよ。

□怖いんですか?怖いんですか?

ユ□はい

軍□恐怖が好きか?

ユ□恐怖。

軍□好きか? ほら、彼女は何にもわかってないんですよ。□電話が鳴る□

軍□今まで□電話が□故障してたかと思ってた。

役□今まで鳴ったことなかったからな。

軍□出てください。

役□おまえが出なさい。

軍□できません。

役□何をそんなに怖がってるんだ□

軍□お願いします。

役□おまえが取れ。

軍□できません。

役□何だ?何が怖いんだ?

役□電話に出るんだ、命令だ。

軍□もしもし・・・はい・・・はい・・・はい・・・はい・・・

誰かがあなたを出せと言っております。

役□誰からだ□

軍□他のボスです、本物の。

役□はい、はい、はい、彼女は□日前に到着しております。食事も取ってますし、

よくしゃべります。お風呂にも入りました。我々もです。え、本当ですか？

彼女の財布を見たかと□はい、ここにあります。おっしゃる通りおめでと□

と。天気はど□ですか□女性はどんなドレスを着ているのです？ 熊のコー

トは幾らするんですか□大統領の名前は？ あれ、もしもし□もしもし□

ユ □ 待つて、間違えは起さないで、お願い。なにもしないで・・・

役 □ 何か重要なものを見つけたぞ。

軍 □ ど □ したらいいのでしょ □ か □

役 □ これが彼女の財布の中にあった。ほとんどボロボロだが。

軍 □ それで、何ですか？

役 □ 身分、証明書。

軍 □ なんて書いてあるかわかるんですか □

役 □ わ か る。

軍 □ どのこの言語なんです？

役 □ 我々の。

軍 □ 我々の □ ん □、なるほど。自動車免許証。ユーゲニア・ギャント。

住所、街 ふむふむ・・・生年月日 □ □ 月 □ □ 日。これ、おまえのか □

役 □ ど □ みたって彼女のだよ。

役 □ ど □ して我々の言ってることがわからない振りなんかしてたんだ □  
ど □ して他の言語で話す振りをしたんだ □ 君はここに住んでいるんだ。  
ここは君の国だよ。我々の言語で話さない。も □ 君の事は誰かわかってる  
んだよ。

軍 □ 何を隠すことがあるのだ □  
何で外国人の真似をしてたんだ □ 自分の国を愛していないのか?何も思い出せ  
ないのか □

役 □ これに見覚えはあるかい □ なんか思い出すものはあるかい □

ユ □ ええ・・・これは私よ。  
私は □ □ 歳、今まで自分が死ぬことなんか思わなかった。  
世界中がケーキで私は誕生日の主役だと思ってた。  
これは私の運転免許証です。私の名前と、そして・・・

ユ□□そでしょ□□□□自分の国にいるの□ここは私の故郷□

でも・・・すべてが変わりすぎてしまった。

役□何ていってるのだ？

軍□ええと・・・彼女は病気だと。だから□□カ国をまわる旅の半分まで来ると、そして軍人らが幸せだったのがわかったと。なのでここには居たくない、

北に離れたいと言っております。

役□そ□か、よし。

彼女を解放したほ□が良いな。さあ。彼女と一緒に出て行けるものなら行ってくれ、私を一人にしてくれ、街も、映画も自分一人だけのためにしてくれ。

始発に彼女を乗せるんだ。ここから彼女を追い出してくれ。

軍□しかし彼女はパスポートを持っておりません。

役□なら、なおさらいい。他の国境の役人が彼女を助けてくれるさ。

ああ、あいつら大嫌いだ。首都もこの国もムカムカするほど嫌いだ。

ユ□ただいま。また戻ってきました。だって覚えがないんですもの。



軍□出て行ったんだぞ。パスポートも無い。

ユ□ええ、もちろんよ。

軍□行け□

ユ□ええ、でも何処に？

軍□右に沿ってずっと□ろ□ろ行けば世界をまわれるだろ。

ユ□でも、私はこの国の人間よ。

どこかに、どこか近くに。

軍□ど□だっていいさ。

ユ□でも話してるじゃないの、私たち、分かり合ってるのよね。

軍□ああ、おまえが我々の事を理解してることはわかったよ・・・

お互いにな。だが、も□ど□だっていいさ。